
真夏の夜の奇妙な果実 (歌詞)

キップル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真夏の夜の奇妙な果実 (歌詞)

【Nコード】

N4237I

【作者名】

キップル

【あらすじ】

garworksさんのコラボで出来た歌詞です。

書いたのは僕ですが。

曲は、

<http://gbu.net/modules/myalbum/photo.php?lid=9591>

ここで聴けます(PCのみ)。

僕の無くした帰る所で
くずおれるほど夢に熟れる

「迷ったままで いたかったんだ
ふたりぼっちの あの八月の迷路」

ことばをひとつ しぐさもひとつ
忘れていくよ あの夏の夜 だけど
今でもするよ 思いがけずに
眠れず越えた 夜明けの香り
君のためにと 信じたことが
ふと気がつくと ただのわがままになる

真夏の夜の奇妙な果実

熱帯夜の露に濡れる

僕の無くした帰る所で
くずおれるほど夢に熟れる

危うく香る 奇妙な果実
伝えられない 水色の想い
迷ったままで いたかったんだ
ふたりぼっちの あの八月の迷路

抱きとめて
巻き込んで
今も君と
夜に溶けたい

真夏の夜の奇妙な果実

熱帯夜の露に濡れる

僕の無くした帰るところで

くずおれるほど夢に熟れる

ことばをひとつ しぐさもひとつ

忘れていくよ あの夏の夜 だけど

迷ったままで いたかったんだ

ふたりぼっちの あの八月の迷路

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4237i/>

真夏の夜の奇妙な果実 (歌詞)

2010年11月2日03時49分発行